

50名が白銀の菅平に舞う

動労千葉サークル協主催の「第三回スキー講習会・大会」は、一月二七日から三日間、長野県菅平スキー場において、七支部から組合員五〇名が参加して開かれました。特に、昨年六月に結成された銚子支部からは五名が参加して、初参加ながらも個人の部優勝をさらうなど大活躍し、他支部の参加者から暖かく迎えられました。

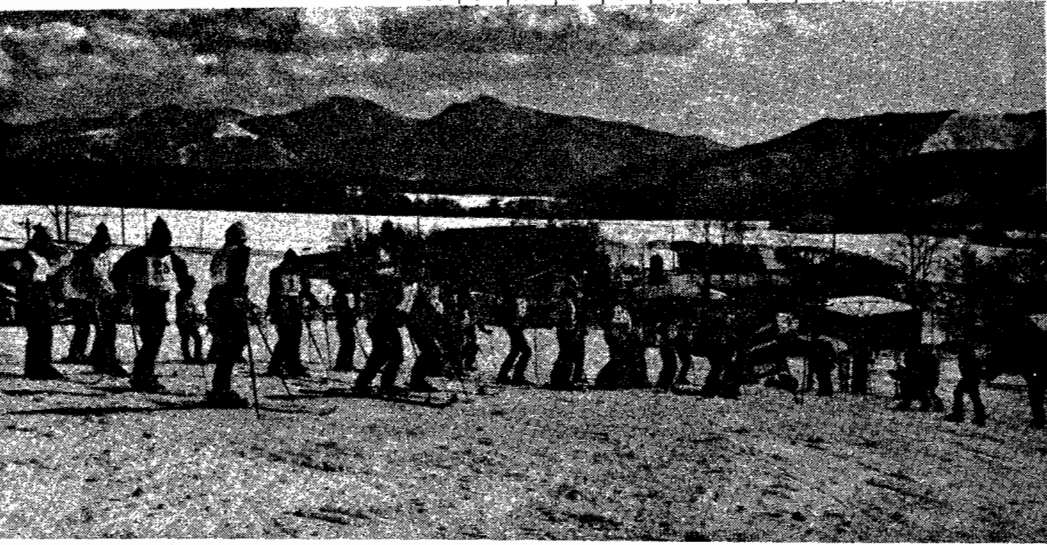
初日は、初級から上級までの講習会、二日目は、支部対抗回転競技、三日目は、個人戦大回転競技が行われました。寒さをふきとばす熱戦の末、支部対抗では勝浦支部が堂々三連覇をたし、個人戦大回転競技第一部では、高橋富味雄選手(千葉転支部)が二連覇の栄冠に輝きました。

第一日目 青い空、粉雪け 夜は「交流会」

抜けるような青い空、菅平特有の粉雪に包まれた天狗山グレンデは、われわれ動労千葉の講習会のために絶好のコンディションで迎えてくれました。

十三時三〇分、鉄輪旗のためくもとに五〇名の参加者が勢ぞろいし、大岩スポーツ連盟会長の司会で開講式が行われました。

本部を代表して、関特別執行委員より、「昨年のスキー大会以降一年、動労千葉は厳しいながらもまさに充実した一年を闘いとおつてきました。歴史的な81・3ジェット・ストライキ闘争を闘いぬき、又、それ故に、恐怖した動労『本部』反動分子による刑事事件デッチ上げ告訴という断じて許せぬ攻撃との真最中にあります。しかし、全支部一丸となって闘いぬくという動労千葉の正義と強さの上に、今日このようにスキーを思いっきり楽しむ事もまた出きると信じます。本大会を成功させ、組織と闘いの一層の前進をにえようがんばっていきましょう。」とのあいさつをうけ、準備運動の後、初級から上級まで9班に分かれて講習会が行われました。



零下5度、曇り空の下で、午前中は前日に引き続いて各班ごとに基礎スキーの練習、上級はポール練習をして大回転競技にそなえました。

十三時から全員でコース作りをし、十四時、大会開会式にうつりました。昨年第三部で優勝した新小岩支部の並木選手の力強い選手宣誓をうけ、「支部対抗回転競技」に入りました。

この競技は、各支部より五名、40才以上、39才以下、29才以下の選手で構成され、7チームで競われました。

支部対抗となると、全選手、闘志満々、力強い声援が雪山にこだましました。十五時三〇分まで全選手が競技のスキルを満喫し、結局、選手層の厚さをほこる勝浦支部に勝利の軍配が上りました。

さて、夜はおまじかかねの「交流会」。焼肉をほろばり、杯をかわし、ビデオテープを見ながら勝者も敗者も一体となって自慢のノドを出し合い、爆笑また爆笑のうちに「交流会」も無事に終えました。

秒前、: 5、4、3、2、1、の合図を耳に、大回転旗をにらんで100秒を競った。技術に依りて滑れるようにと三段階に分けて行われたので、全員が思う存分の競技をたんとする事ができました。

十一時、金城館にもどって「閉会式」。お互いの健闘をたたえ、表彰式を行い、今後も82年の激動の情勢に一致団結たちむかい、現場でも闘いぬく事を全員で誓って、それぞれが帰路につきました。

成績

●支部対抗回転競技		
優勝	勝浦	支部(39点)
準優勝	千葉転	支部(33点)
第三位	新小岩	支部(28点)
●個人大回転競技		
(第一部)		
優勝	高橋富味雄	(千葉転) 44秒31
準優勝	広瀬安男	(勝浦) 45秒52
第三位	吉野洋	() 46秒48
(第二部)		
優勝	並木敬治	(新小岩) 43秒86
準優勝	伊藤彰	(成田) 46秒32
第三位	角野実	(勝浦) 46秒60
(第三部)		
優勝	鎌形三喜男	(銚子) 32秒45
準優勝	河原達也	(新小岩) 33秒36
第三位	淵辺康志	(津田沼) 33秒89

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ

第3回 スキー大会・講習会 大成功

(1/27・28・29)

第二日目

支部対抗大回転

第三日目

吹雪に突込 大回転競技

零下12度、吹雪の中、9時30分、各選手がスタート地点に集合。コールに応える声も大きく、10